

| 受 理 番 号 | 件 名  |
|---------|--|
| 陳情第21号  | 「本会議，委員会の空気を穏やかなものにするために，慣例となっている議会の言い回し，言葉遣いを改めること」を求める陳情 |
| 付託委員会   | 議会運営委員会  |

## (趣旨)

委員会，本会議を傍聴し，また陳情者説明に出席して感じたことですが，余りにも形式的な，かみしもを着た権威的な空気が漂っていたことです。その原因の1つが会を指揮する委員長，議長の古い慣例に従った次のような言い回し（議事録より）にあると思います。

例えば，

第3回定例会 9月24日

鮎川有祐 議長 日程第33 議案第93号 人権擁護委員の候補者の推薦についてを議題といたします。

事務局に朗読させます。（p. 327）

鮎川有祐 議長 以上で朗読は終わりました。

ここで略歴書を配付させます。（p. 327）

議会運営委員会 9月16日

伊藤 委員長 以上で説明は終わりました。それでは，これより委員の発言を許してまいります（p. 2）

伊藤 委員長 それでは，委員の態度表明をしていただく前に，オブザーバーの方々の発言を許します。（p. 8）

このような表現を

「事務局に朗読させます。事務局に朗読してもらいます。」

「略歴書を配付させます。略歴書を配付してもらいます。」

「これより委員の発言を許してまいります。これより委員の発言をどうぞ。」

「オブザーバーの方々の発言を許します。オブザーバーの方々どうぞ

発言してください。」

のように変えれば委員会，議会の雰囲気は改まり，議員の発想，発言はもっと自由に闊達になると思います。このことを求めて陳情いたします。